

## 地質調査結果資料

- ・ 地質量調査位置図
- ・ 地質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

# 地質量調査位置図

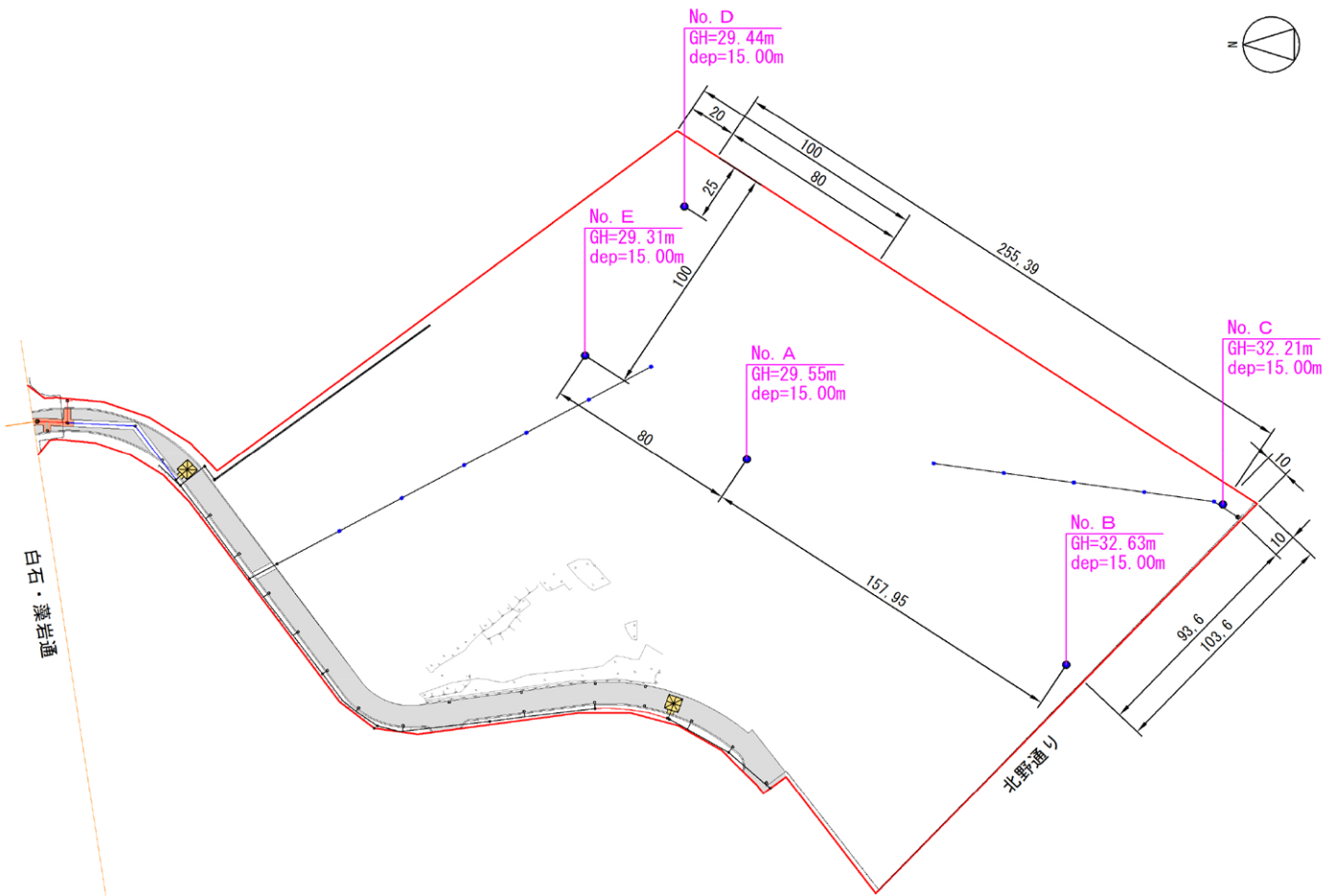


図-2.1 調査平面図 (縮尺:任意)

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 (仮称)新展示場整備事業地質調査業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. A		調査位置	札幌市豊平区月寒東3条11丁目21-19			北緯	43° 01' 37.5"			
発注機関	札幌市経済観光局			調査期間	2022年 11月 28日 ~ 2022年 11月 29日			東経	141° 24' 43.6"		
調査業者名	株式会社アクアジオテクノ 電話 011-866-5522		主任技師	浮田 耕也 地質調査技士 登録番号: 第08438号	現場代理人	齋藤 香也子 地質調査技士 登録番号: 第08438号	コア鑑定者	浮田 耕也 地質調査技士 登録番号: 第08438号	ボーリング責任者	高井 修二 地質調査技士 登録番号: 第13103号	
孔口標高	T. P. 29.55m	角	180° 90° 0°		方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°		
総削孔長	15.00m		使用機種	利根製 TDC-1G型			エンジン	ヤンマー製 NFD-12型		ポンプ	なし

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内位置試験	削孔月日				
												深度 - N値図									深度 (m)	試料番号	採取方法	試験結果
1	28.30	1.25		火山灰質砂	rd2	rd2	rd2			表層10cm間は径20-40mmの砕石。細粒~粗粒砂で不均一。径2~5mmの小礫点在。		1.15	2	1	1	4								
2	27.10	2.45		シルト質火山灰	rd2	rd2	rd2			ほぼ均一な細粒火山灰。含水：中位。		1.45					2.00	A-1	○	含水比重粒度液性塑性				
3	25.90	3.65		火山灰質シルト	締まった~硬い	rd2	rd2			全体にやや締まり良い。下位ほど火山灰分多い。含水：少ない、粘性：非常に強い。		2.15	2	3	2	7	2.45							
4	25.05	4.50		礫混じりシルト質火山灰	rd3	rd3	rd3			細粒~粗粒火山灰で不均一。礫：径2~20mmの角礫、10~20%混入。上部シルト分多い。		2.45					3.00	A-2	○	含水比重粒度液性塑性				
5				砂						礫：径5~40mmの亜円~亜角礫主体。最大礫径：70mm。安山岩質の硬質礫主体。礫混入量：50~70%。基質：細粒~粗粒砂で、やや火山灰質。含水：少ない。		3.15	3	3	3	9	3.47							
6				砂								4.15	7	9	11	27	4.45							
7				砂								5.15	10	15	12	37	5.45							
8				砂								6.15	11	19	20	50	6.42							
9				砂								7.15	12	22	16	50	7.42							
10	19.35	10.20		火山灰質シルト						締まり良く硬質。含水：少ない、粘性：非常に強い。		8.15	25	25	50	160	8.31							
11	18.70	10.85		火山灰質シルト								9.15	28	22	50	190	9.34							
12				砂						礫：径2~30mmの亜円~亜角礫主体。最大礫径：60mm。礫混入量：50~70%。基質：細粒~粗粒砂で全体にやや火山灰質。深度12m付近より含水多い。	11/29 12.15	10.15	5	3	3	11	10.45							
13				砂								11.15	50		50	100	11.25							
14				砂								12.15	30	20	50	130	12.28							
15	14.55	15.00		砂								13.15	31	19	50	200	13.35							
				砂								14.15	13	18	19	50	14.41							
				砂								15.15	19	31	60	50	160	15.31						

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 (仮称)新展示場整備事業地質調査業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. B	調査位置	札幌市豊平区月寒東3条11丁目21-19			北緯	43° 01' 32.8"			
発注機関	札幌市経済観光局			調査期間	2022年 12月 7日 ~ 2022年 12月 9日		東経	141° 24' 39.4"		
調査業者名	株式会社アクアジオテクノ 電話 011-866-5522		主任技師	浮田 耕也 地質調査技士 登録番号: 第08438号	現場代理人	齋藤 香也子 地質調査技士 登録番号:	コア鑑定者	浮田 耕也 地質調査技士 登録番号: 第08438号	ボーリング責任者	高井 修二 地質調査技士 登録番号: 第13103号
孔口標高	T. P. 32.63m	角			使用機種	利根製 TDC-1G型		エンジン	ヤンマー製 NFD-12型	
総削孔長	15.00m	方位			ポンプ	なし				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	標準貫入試験							試料採取	室内位置試験	削孔月日				
											深度-N値図		N	深度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号	採取方法
1	31.63	1.00		火山灰質砂	灰~灰褐					細粒砂主体でほぼ均一。上部、下部の10cm間は碎石。含水：少ない。	0	1.15	1	350	1	350								
2	30.13	2.50		シルト質火山灰	暗褐~褐灰	非常に緩い~緩い				微粒~細粒火山灰主体。所々シルト分卓越しやや粘性あり。径5mm以下の軽石点在。含水：やや多い。	1	1.50	2	3	2	7	300	2.00	B-1	○	含水比重粒度液性塑性			
3				火山灰質シルト	淡灰~淡褐灰			rc4		縮まり良く硬質。一部有機物混在。上部は火山灰分多い。含水：少ない、粘性：非常に強い。	7	2.15	2	3	2	7	300	2.50						
4	28.13	4.50		火山灰	暗褐	rd4				細粒~中粒火山灰でやや不均一。径2~10mmの小礫・軽石5~10%混入。	9	3.15	3	3	3	9	300	3.00	B-2	○	含水比重粒度液性塑性	3.50	12/7	
5	27.68	4.95		砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な				礫：径5~30mmの亜円~亜角礫主体。最大礫径：80mm。礫混入量：50~60%。安山岩質の硬質礫主体。基質：細粒~粗粒砂で全体に火山灰質。含水：少ない。	13	4.15	4	4	5	13	300	3.50	孔内載荷試験		E=4.58E+03kN/m <sup>2</sup>			
6				砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な						37	5.15	13	12	12	37	300						
7				砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な						49	6.15	17	18	14	49	300	7.00	B-3	○	含水比重粒度		
8				砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な						45	7.15	14	16	15	45	300	7.50					
9				砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な						58	8.15	20	18	12	50	260						
10	22.08	10.55		砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な						214	9.15	50	70	50	70	70						12/8
11	20.98	11.65		火山灰質砂	黄褐灰	rd4				ほぼ均一な細粒砂主体。径2~10mmの礫点在。含水：少ない。	63	10.15	22	20	8	50	240	240	11.00	B-4	○	含水比重粒度		
12				砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な				礫：径2~40mmの亜円~亜角礫主体。最大礫径：50mm。礫混入量：50~70%。基質：細粒~粗粒砂で一部シルト質。全体に火山灰質。深度12.5mより含水多い。	49	11.15	7	11	12	30	300	11.50						
13				砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な						88	12.15	26	15	8	49	300						
14				砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な						136	13.15	25	25	50	170	170	14.00	B-5	○	含水比重粒度		
15	17.63	15.00		砂礫	黄褐灰~暗褐	密な非に密な						88	14.15	45	5	50	110	110	14.36					12/9

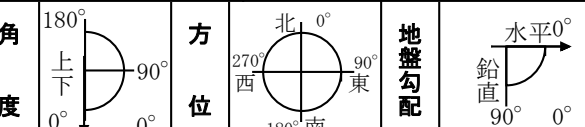


# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 (仮称)新展示場整備事業地質調査業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. D	調査位置	札幌市豊平区月寒東3条11丁目21-19			北緯	43° 01' 38.2"	
発注機関	札幌市経済観光局			調査期間	2022年 12月 2日 ~ 2022年 12月 6日		東経	141° 24' 48.2"
調査業者名	株式会社アクアジオテクノ 電話 011-866-5522		主任技師	浮田 耕也 地質調査技士 登録番号: 第08438号	現場代理人	齋藤 香也子 地質調査技士 登録番号: 第08438号	ボーリング責任者	高井 修二 地質調査技士 登録番号: 第13103号
孔口標高	T. P. 29.44m	角			試験機	利根製 TDC-1G型		
総削孔長	15.00m	度			使用機種	エンジン	ヤンマー製 NFD-12型	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室原位置試験	削孔月日
												深度 - N値図								
	29.04	0.40		砕石		暗灰				径10-50mmの砕石主体。										
	28.54	0.90		火山灰		淡褐灰				ほぼ均一な細粒火山灰。含水：少ない。	12/5 2.24							1.15	5	3
1				シルト質火山灰		褐灰 暗褐	緩い 中ぐらい			微粒～細粒火山灰。所々シルト分卓越し、粘性を有する。含水：多い。		1.45								
2				火山灰質シルト		淡黄灰 褐灰		締まった 非常に硬い		所々火山灰分卓越し不均一。深度5.0mより火山灰多い。含水：中位～やや多い、粘性：非常に強い。		2.15	2	2	2	6				
3	26.44	3.00		火山灰質シルト								2.45								
4				砂礫						礫：径2～40mmの亜円～亜角礫主体。最大礫径：100mm。礫混入量：60～70%。安山岩質の硬質礫主体。基質：細粒～粗粒砂で全体に火山灰質。深度12.5m付近より含水多い。		3.15	2	2	2	6				
5												3.45								
6												4.15	3	4	3	10				
7												4.45								
8												5.15	5	9	6	20				
9	23.99	5.45										5.45								
10												6.15	10	15	17	42				
11												6.45								
12												7.15	12	11	15	38				
13												7.45								
14												8.15	22	22	6	50				
15												8.38				230				
												9.15	24	26		50				
												9.32		70		170				
												10.15	25	20	5	50				
												10.36			10	210				
												11.15	22	28		50				
												11.35				200				
												12.15	28	22		50				
												12.28		30		130				
												13.15	30	20		50				
												13.28		30		130				
												14.05	50			50				
												14.15				100				
												15.15	43	7		50				
	14.44	15.00										15.26		10		110				

